

原発事故はまだ終わっていない!

福島第一原発事故の発生から3月11日で8年が経過しました。復興庁は避難者数を約5万2千人と発表していますが、自主避難者を含めれば更に多くの住民が故郷を離れ避難生活を余儀なくされています。

「復興五輪」「避難者ゼロ」は誰のため?

しかし、3月末には「自主避難者」に向けた家賃補助が打ち切られるほか、来年4月末には帰還困難区域の応急仮設住宅の無償提供を終了するとしています。一方で政府は2020年の東京五輪を「復興五輪」と位置付け、福島県は2020年度までに「避難者ゼロ」を実現する目標を掲げています。復興期間を2020年で終了し、東京五輪を節目に原発事故を終わったものにしようとの考えが見え隠れします。

政府は原発を「ベースロード電源」とし、次々と再稼働を進めていますが、ひとたび事故が起これば私たちの生活に大きな影響を及ぼすことは明らかです。将来にわたり安心して暮らしていける社会を創るために、私たち自らが声をあげ行動していきましょう!

集会に結集して脱原発の声をあげよう!

【3.21 さようなら原発全国集会】

日時 2019年3月21日(木・祝)

時間 13時30分～15時00分

※集会終了後(15時10分～)デモ行進があります。

場所 代々木公園B地区・けやき広場